

'00全日本ダートトライアル
選手権第3戦

CMSC
群馬

荒井信介選手 激戦のAIVクラスを制す!

CMSC
広島

岩根つもる選手 CIIクラス 全日本戦初優勝!

'00全日本ダートトライアル選手権第3戦「2000信州ダートトライアル」が、5月21日(日)長野県長野市の「スポーツランド信州」を会場に開催されました。毎戦ハイレベルな戦いが繰り広げられるAIVクラスを制したのは、CMSC群馬の荒井信介選手。第1ヒートでトップタイムをたたき出した後は、天候の崩れにも助けられ1本目のタイムで見事優勝。昨年第8戦以来の今シーズン初勝利を挙げました。またCIIクラスでは、CMSC広島の岩根つもる選手が、全日本ダートトライアル選手権として制定された1981年以來のうれしい初優勝を達成。多くのレース仲間と共に喜びを分かち合っていました。

CMSC群馬 荒井信介選手のコメント

レース当日、前日までの雨がウソのように晴れ渡り、またホコリに悩まされるのかと思いました。競技は、1ヒート途中から雨が降ったり止んだりして天候が一定せず、タイヤの選択が難しい状況でした。結局、路面や前走者の様子を見ながらA035のドライタイヤを装着し、スタート。前半のギャラリコーナーでミスって中間タイムは2番手となりましたが、後半うまくまとめることができ、トップタイムでゴールしました。このまま晴れ続ければ2本目はタイムが上がるはずなので、気が抜けないと思っていたら、突然大雨が。コースはヘビーウェット状態になり、幸運の女神が微笑んだのかとみんなと握手をしてしまいました。

ところが2本目のスタートの頃には光が射し始め、



激しいアタックをみせた荒井選手の走りと表彰式での笑顔。

みるみる路面も乾いてきました。しかし、後半セクションが乾ききっていないようで、全体的にタイムはあまり上がってきません。2本目の前半は、路面が荒れていない部分を選んで走行しタイムを稼ぎました。後半セクションでは、やはり路面がウェット気味で無理ができず、結局1秒あまりのタイムダウン。それでも他の選手のタイムも伸び悩み、1本目のタイム

で優勝することができました。

悪条件下でがんばってくれたメカニックや支えてくれたチームメイトに感謝するとともに、ご支援をいただいているスポンサーの皆様にお礼を申し上げます。どうもありがとうございます。前半戦の1勝は大きく、後半戦が楽しみになってきました。これからも応援よろしくお願ひします。



全日本戦初優勝を飾った岩根選手の快走と表彰台での表情。

CMSC広島 岩根つもる選手のコメント

レースを振り返って思うことは、「長いことやっていると、いいこともあるもんだ」ということです。ダートラを初めて約23年間。さまざまなクルマに乗り、良い時も悪い時もありましたが、今回の全日本選手権で初優勝できたことは、とてもうれしく思います。23年間、

私を支援し続けてくださった方々や一緒に走り続けてきた仲間たちには、大変感謝しております。

今年は、あと6戦を悔いのないよう一戦一戦を大切に、一生懸命いつも通りの走りをして、良い成績を残すべくがんばっていきます。皆様よろしくお願ひします。

～今年の会場では、大きい声の広島弁が聞こえてくるかも～

着実に上位進出を重ねるCMSC勢。

第1戦から第4戦までを消化した時点で、CMSC勢は好調な滑り出しをみせています。AIVクラスでは、常連のCMSC札幌・宝田芳浩選手、CMSC群馬・荒井信介選手らが上位を固める一方で、CMSC大阪の吉村修選手、CMSC栃木の赤羽政幸選手などが昨年に比べ着実にランクアップしてきました。CIIクラスでは、CMSC岐阜の原利之選手が開幕戦でいきなり2位と大健闘をみせています。Dクラスでは、CMSC広島の内河渉選手が毎戦入賞をキープ。CMSC岐阜・栗本利也選手もランクを上げてきました。AIIIクラスでは昨年チャンプのCMSC大阪・藤原雄一郎選手が確実にポイントを挙げています。Lクラスでは、3戦・4戦とCMSC千葉の赤松裕子選手が、見事連続優勝を遂げています。

- 第1戦:「RASCAL SPRING TRIAL in MITSUI」 4月16日(日)/晴れ
福岡県大牟田市「三井三池オートスポーツランド」
第2戦:「大誠テクノ CUP DIRT TRIAL OF JAPAN 2000」 4月29日(土)・30日(日)/晴れのち曇り
大阪府大阪市「舞洲スポーツアイランド」
第3戦:「2000信州ダートトライアル」 5月21日(日)/第1ヒート:曇り 第2ヒート:雨のち晴れ
長野県長野市「スポーツランド信州」
第4戦:「ダートスプリント in MSSP」 6月4日(日)/晴れ
福島県二本松市「SSパークサーキットグラベルコース」

AIVクラス
CMSC大阪
吉村 修選手
第1戦 4位
第2戦 3位
第4戦 3位



CIIクラス
CMSC岐阜
原 利之選手
第1戦 2位
第3戦 5位



Dクラス
CMSC岐阜
栗本利也選手
第1戦 6位
第4戦 5位



AIIIクラス
CMSC大阪
藤原雄一郎選手
第1戦 3位
第2戦 2位



AIVクラス
CMSC札幌
宝田芳浩選手
第1戦 2位
第4戦 2位



AIVクラス
CMSC栃木
赤羽政幸選手
第2戦 4位
第3戦 5位
第4戦 6位



AIVクラス
CMSC岐阜
三枝光博選手
第1戦 3位



Dクラス
CMSC広島
内河 渉選手
第1戦 3位
第2戦 3位
第3戦 6位
第4戦 3位



Lクラス
CMSC千葉
赤松裕子選手
第1戦 5位
第2戦 3位
第3戦 優勝
第4戦 優勝



CMSC道北 **鎌田豊選手** Bクラス 第5戦を制して2勝目!

ラリー部門では、'99チャンピオンのCMSC道北の鎌田豊選手をはじめ、多くのCMSC選手が上位に食い込むなどの健闘をみせています。第3戦では、CクラスでCMSC愛知の松井孝夫選手が2位につける善戦をみせました。5位にCMSC埼玉の田口幸宏選手、6位にCMSC浜松の菅野正之選手が入賞しています。第5戦は、BクラスでCMSC道北の鎌田豊選手が今シーズン2勝目を飾りました。CクラスではCMSC埼玉の田口幸宏選手が2位と健闘。5位にCMSC浜松の菅野正之選手が入っています。

- 第3戦:「MCA BARU 2000」 3月25日(土)・26日(日)
スタート:大分県大分郡庄内町「JA経済連」ゴール:大分県直入郡久住町「久住町スポーツセンター」
第4戦:「ACK スプリングラリー」 4月22日(土)・23日(日)
スタート・ゴール:大分県日田郡「オートポリスインターナショナルコース」
第5戦:「ひえつき'00」 5月27日(土)・28日(日)/雨
スタート・ゴール:宮崎県東臼杵郡「椎葉村運動公園」

Cクラス
CMSC埼玉
田口幸宏選手
第3戦 5位
第5戦 2位



CMSC埼玉田口選手(左)とナビの本部田口雅生選手(右)。

Bクラス
CMSC道北
鎌田 豊選手
第5戦 優勝



Cクラス
CMSC愛知
松井孝夫選手
第3戦 2位
第5戦 6位



Cクラス
CMSC浜松
菅野正之選手
第3戦 6位
第5戦 5位



'00スーパー耐久シリーズ
第1・2・3戦

CMSC勢 2戦続けて上位入賞!

CMSC座間 市村秀明組 第1戦 2位 (クラス2)



CMSC栃木 添田 正組 第2戦 3位 (クラス2)



CMSC山形 小川日出生組 第2戦 2位 (クラス2)



第1戦の「CP MINE 500kmレース」を皮切りに開幕した '00スーパー耐久シリーズ。第1戦では、予選2位からスタートしたCMSC座間の市村秀明組が順調に周回を重ね、そのまま2位でフィニッシュ。大健闘をみせました。続く第2戦では、昨年チャンピオンチーム、CMSC山形の小川日出生組が好調な走りを見せ、一時はトップに躍り出るも最終的には惜しくも2位でゴール。またCMSC栃木の添田正組が3位には入る善戦をみせました。

第1戦:「CP MINE 500kmレース」 3月18日(土)・19日(日)／雨

山口県美祢市「CP MINE サーキット」

第2戦:「ハイランドスーパー耐久レース」 4月22日(土)・23日(日)／晴れ

宮城県仙台市「仙台ハイランドレースウェイ」

第3戦:「スーパー耐久・鈴鹿200マイル」 5月13日(土)・14日(日)／雨

三重県鈴鹿市「鈴鹿サーキット」

CMSC栃木 赤羽政幸
Gold Rush Hill Climb 参戦記

予選1位も、決勝では惜しくも2位に…

Gold Rush Hill Climbは4月23日にニュージーランドの南島、クインズタウンにて開催されました。ラリーのような慌ただしさもなくのんびりとしています。しかしながら、15kmの距離、137のコーナーを集中力をもって攻めて走らなければなりません。去年はタイヤのパンクでリタイヤという苦い思い出があるので、今年は結果を出したいと気合を入れて臨みました。

今年は天候に恵まれず予選の日が雨でウェット状態。タイヤはドライ用しか準備していなかったのですが、何とか予選は1位で終わることができました。翌日の決勝日は雨は上がったものの低く垂れこめた雲で、山はすっぽりと隠れてしまい路面もあまり乾く様子がありません。私が走る頃には多少日が射している路面にはなってきたのですが視界が悪かったせいもあり、心もち慎重に走りすぎた気



がします。結果は2位で優勝は地元のラリーチャンピオンがドライブするランサーEvo.3でした。今年も悔しい結果で終わったので、来年もまた挑戦したいと思っています。(CMSC栃木 赤羽政幸)

CMSC栃木 5月28日
'00スリーダイヤモンドジムカーナ

取材多数の大盛況イベントに!

今年は会場にヒーローシノイサーキット1.8kmロードコースを使用し、クローズドクラスも設定するなどの趣向を凝らして、54台のエントリーをいただきました。当日はJAFスポーツ誌やとちぎTV、地方自動車雑誌の取材が来るなど、地方競技会としては珍しく200人近くの観客動員数となりました。競技は、朝方に雨が降ったため時間を遅らせてスタート。しばらくすると雨も止み、エントランスに思い切った走りを楽しんでもらえると期待した矢先に、クローズドクラスで1台転倒する車両が出てしまい競技が一時中断。幸いドライバーにケガはなく、その後の運営に影響なく無事午前のイベントが終了しました。午後はアクシデントのないようチーム、エントラントに入念な安全対策の再確認を警告し、イベントを開始。各ドライバーもコースに慣れてきたようで、タイムも安定しサーキットコースを十分に楽しみながら競技に熱中してもらえた様子でした。そして午後の部は何のトラブルもなく無事に終了することができました。

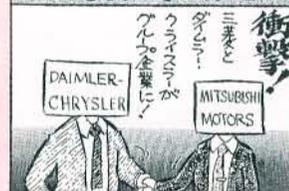
参加台数が少なく、運営面では厳しい部分もありましたが、栃木シリーズのジムカーナとしては話題も多く、エントラントの感想も好評で、来年もこのイベントを何とか続けていきたいと考えています。(CMSC栃木 川口法行)



コトの連続コーナー 16

CMSC島根
古藤 浩美

最強伝説!



は、次、の、と、は

迫力倍増!

想像回



※ドライブ-13 資料掲載につき。

CMSC青森
'00CMSC青森ジムカーナ第1戦
5月28日

CMSC青森の若手が大健闘!

'00CMSC青森ジムカーナ第1戦が、5月28日岩木山百沢スキー場駐車場で開催されました。シーズン第1戦ということで参加台数の減少が心配されましたが、総参加台数64台とまずまずの数が集まりました。

競技開始前からの風と雨でオフィシャルのクラブ員は大変でしたが、事故もなく競技は無事終了。結果はクラブ員の大活躍が目立ち、AIIクラス第1位は、新婚・堅田一也選手が愛妻の熱いまなざしの中、初のオーバーオールを獲得。表彰式では仲間から祝福を受けていました。AIVクラスは、CMSC青森・ランサー使いの若者たちが独占。1位葛西満選手、2位金澤龍選手、3位葛谷英晶選手、4位前田進一選手と、100分の1秒の戦いをみせてくれました。CDクラスは宇野慶一選手が貫禄の1位。2位にもクラブ員の外崎裕樹選手が入りました。

ジムカーナ反省会は「CMSC青森特製焼肉器」への魂入れを兼ね、某所にて開催され大いに盛り上がりました。なお、次回第2戦は6月25日、第3戦は8月6日(ネプタ祭りも見られます)です。また、7月22日・23日は全日本ラリーの開催です。全国のCMSCの仲間の参加をお待ちしています。(CMSC青森 小館 久)



オーバーオールの堅田選手(左から5番目)



雨の中ががんばった選手、オフィシャルの面々

CMSC群馬
CMSCトライアルin那須
4月23日

長めのコース設定で走りを満喫!



AIVクラス2位 CMSC群馬 斎藤選手(中央)

今年も、JMRC群馬ダートトライアルシリーズの第1戦として、CMSC群馬主催の「CMSC群馬ダートトライアル in 那須」が、4月23日に丸和オートランド那須で行われました。毎年盛況のこのイベントですが、当日は他のクラブのラリー、ダートライベントと重なり、エントリー台数も43台と、ちょっと寂しい数になってしまいました。しかし、ここで引き下がるCMSC群馬ではありません。それならばとエントリーしてくれたエントランスに目一杯走ってもらうために、通常よりだいぶ長いコース設定にして、皆さん楽しんでもらいました。天候のほうは例年のごとく途中土砂降りになったり、快晴になったりしましたが、大きなトラブルもなく、無事競技を終えることができました。(CMSC群馬 小林正夫)

CMSC香川
四国地方選手権第1戦
4月23日

エントリーが少なくても良いことが...



AIIIクラス優勝 CMSC香川 外山選手

2月20日に四国地方選手権第1戦「2000CMSCアストロトライアル」を主催しました。エントリーは私が記憶する中で最低の39台にとどまり、主催する側にはとてもつらい台数となりました。

しかし、良いことが1つ。当クラブの外山選手(AIIIクラス・ミラーージュ)が、選手権参戦15年目にして初優勝したのです。昨年のチャンピオン三木選手とともに、今年ががんばると、今シーズンへの意気込みを力強く語ってくれました。

(CMSC香川 白井 修)

'00チャレンジカップ

ダートラの活躍で座間が首位。福島追走!

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
座間	753				753
福島	622				622
帯広	470				470
広島	450				450
香川	435				435
大阪	368				368
岐阜	324				324
青森	320				320
群馬	306				306
栃木	295				295
浜松	177				177
鹿児島	160				160
秋田	111				111
島根	107				107
南茨城	105				105
仙台	99				99
埼玉	95				95
岩手	75				75
山形	56				56
愛知	25				25
道北	0				0
札幌	0				0
千葉	0				0

今年も開幕したチャレンジカップ。首位は昨年の覇者、香川が繰り広げるといふ展開。今年は前年に比べ選手間の座間。それを追う福島。さらに3番手争いを帯広、広島、ポイントが均衡しています。皆さん、がんばってください。

●ラリー・ドライバー部門

二野下幸夫	広島	60
中尾 晃	鹿児島	46
田口幸宏	埼玉	46
近藤隆行	秋田	40
森 新次	香川	35
小館 久	青森	30
菅野正之	浜松	29
赤間 勝	仙台	24
富谷利幸	香川	20
猿谷洋文	帯広	13

●ラリー・ナビゲーター部門

安波広通	鹿児島	46
須田 力	秋田	40
柁沢宏之	青森	30
工藤克憲	青森	30
遠藤 昇	仙台	24
原 順子	岐阜	10
平尾高王	香川	8
鈴木直子	帯広	8
宮沢早苗	大阪	6
斎藤幸二	福島	5
板垣達也	帯広	5

●ダートトライアル部門

吉村 修	大阪	226
石井宏和	座間	223
秋間忠之	座間	196
小出久美子	座間	187
岩根つもる	広島	160
三木利夫	香川	140
鈴木正孝	福島	130
赤羽政幸	栃木	118
青沼達也	帯広	114
荒井信介	群馬	108

●ジムカーナ部門

高野 聡	福島	56
堅田一也	青森	53
葛西 満	青森	44
青沼達也	帯広	44
高橋和雄	帯広	43
長内 豊	帯広	43
久保田明	青森	36
早川直樹	福島	35
葛谷英晶	青森	27
斎藤幸二	福島	20
小橋信恵	栃木	20

●レース部門

小川日出生	山形	41
川口法生	栃木	40
添田 正	栃木	40
小暮吉則	栃木	40
羽根幸浩	座間	30
市村秀明	座間	30
バ'アリ三島	栃木	17
宇野慶一	青森	20
鈴木直子	帯広	20

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位以下	リタイア	
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A: <ラリー>ダートトライアル、ジムカーナ>JAF全日本選手権(含むレディースクラス)、JAF地方選手権(除くレディースクラス)D.E.F地区最上級ラリーシリーズ、JAFオールスターダートラ(含むレディースクラス)、JAFカップジムカーナ(含むレディースクラス)、A~H地区オールスターダートトライアル(含むレディースクラス)
<レース>全レース
<海外競技>FIA ASN.公認全て(含むヒルクライム)
B: 上記以外